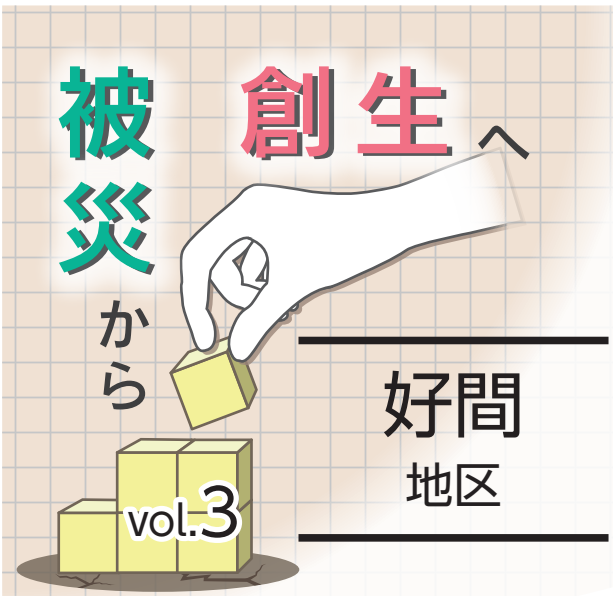


復興公営住宅（好間町北好間字中川原）

▶1　東側から見る、県施工による復興公営住宅予定地〔平成26(2014)年7月　いわきジャーナル撮影〕

▲3　建物建設中の復興公営住宅〔平成29(2017)年8月　いわきジャーナル撮影〕

▲2　造成中の復興公営住宅〔平成27(2015)年10月　いわきジャーナル撮影〕

◀4　完成した復興公営住宅「県営北好間団地」〔平成30(2018)年1月　いわき明星大学震災アーカイブ室撮影〕

市道法面崩落（内郷内町）

▲1　市道宮沢・蛭内線の切土斜面が崩壊　規模は長さ50m、最大幅40mに及んだ。〔平成23(2011)年4月17日　いわき市撮影〕

▶2　市道宮沢・蛭内線の崩壊部分を空撮〔平成23(2011)年4月26日　いわき市所蔵〕

◀3　道路法面が復旧〔平成24(2012)年5月　いわきジャーナル撮影〕

被災から創生へ

常磐地区

vol.5

1 常磐西郷町

住宅団地崩落（忠多）

▲ 1-1　誘発地震で忠多団地の住宅が崩落〔平成 23(2011) 年３月 17 日　いわき市撮影〕

◀ 1-2　復旧した住宅団地〔令和元 (2019) 年８月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

2 常磐藤原町

誘発地震〔湯ノ岳断層〕／建徳寺（松本）

▲ 2-1　誘発地震で湯ノ岳断層が動き、被災した建徳寺〔平成 23(2011) 年５月　菅波晋氏撮影〕

▲ 2-2　復旧した建徳寺　境内を整地して、本堂を若干右へ移動。〔令和元 (2019) 年８月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

被災から創生へ

vol.6

1 平

歴史的建造物（本町通り・字二町目）

▲1-1　西方に向かって見る、平字三町目、二町目の本町通り　中野商店の尖塔が見える。〔大正時代　郵便絵はがき　飯田書店発行〕

▲1-2　平桜まつりでにぎわう本町通り〔平成 4(1992) 年 4 月　いわき市撮影〕

▲1-3　平字三町目、二町目の本町通り〔平成 18(2006) 年 9 月　いわき市撮影〕

▶1-4　東北地方太平洋沖地震が発生　平字三町目、二町目の建物が被害。〔平成 23(2011) 年 3 月 19 日　いわき市撮影〕

◀1-5　平字二町目の建物は再建や取り壊しなど、さまざまな道のり〔令和 2(2020) 年 2 月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

2

薄磯①

震災復興土地区画整理（空撮）

▶ 2-1　上空から西方に向かって見る、平薄磯の市街と薄磯海水浴場　写真中央に豊間中学校が見える。〔平成 20(2008) 年 5 月　いわき市所蔵〕

◀ 2-2　東日本大震災の大津波で被災した平薄磯の市街〔平成 23(2011) 年 11 月　いわき市撮影〕

▲ 2-3　津波ガレキが撤去された平薄磯〔平成 27(2015) 年 12 月　いわき市撮影〕

▲ 2-4　薄磯震災復興土地区画整理事業、防潮堤かさ上げなどの工事が進行〔平成 27(2015) 年 12 月　いわき市撮影〕

▶ 2-5　薄磯震災復興土地区画整理事業、防潮堤かさ上げなどが完了〔平成 31(2019) 年 3 月　いわき市撮影〕

3 薄磯②

薄磯海岸（空撮）

▶ 3-1　塩屋埼灯台南方上空から見る薄磯海岸、新舞子の白砂青松〔昭和60(1985)年８月　いわき市撮影〕

◀ 3-2　東日本大震災からの復旧をめざす薄磯〔平成26(2014)年３月　いわき市撮影〕

▶ 3-3　防潮堤のかさ上げ、震災復興土地区画整理事業が進む薄磯〔平成26(2014)年12月　いわき市撮影〕

◀ 3-4　震災復興土地区画整理事業が完成し、宅地化が進む〔平成31(2019)年３月　いわき市撮影〕

4

薄磯③

県道豊間四倉線／防潮堤（薄磯三丁目←字須賀）

▶ 4-1　県道豊間四倉線の防潮堤沿いに南方を見る薄磯海岸の平薄磯字中街・魚干し〔昭和63(1988)年頃　飯沼晴男氏撮影〕

◀ 4-2　薄磯の魅力をテレビで中継〔平成10(1998)年10月　いわき市撮影〕

▶ 4-3　東日本大震災の大津波で被災〔平成23(2011)年3月30日　丹野稔氏撮影〕

▲ 4-4　県道豊間四倉線沿いの防潮堤かさ上げ工事〔平成24(2012)年3月　佐藤貴行氏撮影〕

◀ 4-5　防潮堤かさ上げ工事〔平成27(2015)年3月　佐藤貴行氏撮影〕

▼ 4-7　防潮堤の後背地に多目的広場・駐車場、さらには防災緑地を配置〔令和元(2019)年9月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

▲ 4-6　県道豊間四倉線沿いの防潮堤かさ上げ工事が完成〔平成28(2016)年3月　いわき市撮影〕

5

薄磯④

県道豊間四倉線／震災復興土地区画整理（薄磯一丁目←字北ノ作）

▶ 5-1　薄磯と沼ノ内の境に位置する県道豊間四倉線の切り通しから見る薄磯集落〔昭和 32(1957) 年　二片英治氏撮影〕

◀ 5-2　切り通しから見る薄磯集落の被害〔平成 23(2011) 年 3 月 20 日　渡邉昌和氏撮影〕

▲ 5-3　撤去された被災家屋〔平成 24(2012) 年 9 月　佐藤貴行氏撮影〕

◀ 5-4　道路付け替えのために残った家屋も移転〔平成 24(2012) 年 12 月　佐藤貴行氏撮影〕

▲ 5-5　震災復興土地区画整理事業のために整地〔平成 27(2015) 年 7 月　佐藤貴行氏撮影〕

▲ 5-6　新道の付け替え〔平成 28(2016) 年 3 月　佐藤貴行氏撮影〕

▶ 5-7　付け替えられた新道と旧道〔令和元 (2019) 年 9 月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

▲ 5-8　「切通し」のバス停留所〔令和元 (2019) 年 9 月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

6 薄磯⑤ 災害公営住宅（薄磯一丁目←字北ノ作）

▶ 6-1　東日本大震災の津波で冠水した田畑〔平成 23(2011) 年 3 月 13 日　長谷部淳氏撮影〕

▲ 6-2　建設中の災害公営住宅〔平成 26(2014) 年 2 月　いわきジャーナル撮影〕

▶ 6-3　完成した災害公営住宅「市営薄磯団地」〔平成 26(2014) 年 11 月　いわきジャーナル撮影〕

7 薄磯⑥ 震災復興土地区画整理（薄磯一丁目←字北街、字中街）

◀ 7-1　東日本大震災で壊滅的な被害を受けた薄磯市街〔平成 23(2011) 年 3 月 30 日　丹野稔氏撮影〕

▶ 7-2　災害派遣の車が入る薄磯市街〔平成 23(2011) 年 4 月 1 日　いわき市撮影〕

▲ 7-3　震災復興土地区画整理事業が進行〔平成 28(2016) 年 3 月　佐藤貴行氏撮影〕

▲ 7-4　震災復興土地区画整理事業が竣工し、住民が少しずつ戻る薄磯〔令和元 (2019) 年 9 月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

8 豊間中学校／震災復興土地区画整理／いわき震災伝承みらい館（薄磯三丁目←字小塚）

薄磯⑦

▶ 8-1　南東側から見る木造の豊間中学校〔昭和 55(1980) 年 6 月　いわき市撮影〕

▼ 8-2　薄磯海岸清掃で豊間中学校に集合〔昭和 55(1980) 年 8 月　いわき市撮影〕

▲ 8-3　鉄筋コンクリートの校舎が完成した豊間中学校〔昭和 58(1983) 年 6 月　いわき市撮影〕

▲ 8-4　東日本大震災の津波で被災した豊間中学校〔平成 23(2011) 年 4 月 1 日　いわき市撮影〕

◀ 8-5　豊間中学校の校庭は、津波ガレキの仮置場へ〔平成 23(2011) 年 4 月 27 日　いわきジャーナル撮影〕

▲ 8-6　津波ガレキが撤去された豊間中学校の校庭〔平成 24(2012) 年 12 月　佐藤貴行氏撮影〕

▲ 8-7　解体が進む豊間中学校の校舎〔平成 27(2015) 年 7 月　いわき市撮影〕

▲ 8-9　旧豊間中学校跡地付近に立つ「いわき震災伝承みらい館」〔令和元 (2019) 年 9 月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

▶ 8-8　豊間小学校の西側に移転した豊間中学校〔平成 29(2017) 年 6 月　いわき明星大学震災アーカイブ室撮影〕

9

平豊間①

震災復興 土地区画整理（空撮）

▶ 9-1　上空から西方に向かって見る、平豊間の市街〔平成20(2008)年５月　いわき市所蔵〕

◀ 9-2　東日本大震災の被害に遭った平豊間の市街〔平成23(2011)年11月　いわき市撮影〕

▶ 9-3　津波ガレキが撤去された平豊間〔平成27(2015)年12月　いわき市撮影〕

▲ 9-4　豊間震災復興土地区画整理事業、防潮堤かさ上げなどの工事〔平成27(2015)年12月　いわき市撮影〕

▶ 9-5　豊間震災復興土地区画整理事業、防潮堤かさ上げなどが完了〔平成31(2019)年３月　いわき市撮影〕

10 県道豊間四倉線／防潮堤（字塩場）

平豊間②

◀ 10-1　防潮堤沿いに沿って北方の県道豊間四倉線、豊間市街　サーファーのメッカ・豊間海岸。いわきサイクリングロードマップ委員会による試走。〔平成20(2008)年７月　いわき市撮影〕

▲ 10-2　東日本大震災で防潮堤、豊間市街が被災〔平成23(2011)年３月30日　丹野稔氏撮影〕

▲ 10-3　津波ガレキが集められた県道豊間四倉線沿いの防潮堤、豊間市街〔平成23(2011)年４月11日　斎藤充弘氏撮影〕

▶ 10-4　防潮堤、新しい県道豊間四倉線が完成した豊間海岸〔令和元(2019)年９月　医療創生大学震災アーカイブ撮影〕

11 災害公営住宅（字榎町）

平豊間③

▲ 11-1　市施工による災害公営住宅の建設予定地　西方に向かって見る。〔平成25(2013)年１月　いわきジャーナル撮影〕

▲ 11-2　災害公営住宅の建設〔平成25(2013)年12月　いわき市撮影〕

▲ 11-3　完成した災害公営住宅「市営豊間団地」〔平成30(2018)年２月　いわきジャーナル撮影〕

12
平豊間④

諏訪川〔豊間橋、河川堤防〕（字塩場←字下町、字兎渡路）

▲12-1　主要地方道小名浜四倉線の豊間橋から見る諏訪川河口〔平成 23(2011) 年４月５日　佐藤貴行氏撮影〕

▲12-2　復旧中の豊間橋〔平成 24(2012) 年２月　いわき市撮影〕

▲12-3　河口付近では震災復興土地区画整理事業が進ちょく〔平成 27(2015) 年３月　いわき市撮影〕

▲12-4　諏訪川堤防、豊間橋の架け替えなどが完成〔平成 29(2017) 年３月　佐藤貴行氏撮影〕

13
平豊間⑤

震災復興土地区画整理（字八幡町、字柳町）

▶13-1　豊間八幡神社から見る被災した字八幡町、字柳町〔平成 23(2011) 年３月 27 日　遠藤一利氏撮影〕

▲13-2　津波ガレキを撤去し、市街は震災復興土地区画整理事業で復興〔平成 27(2015) 年３月　いわき市撮影〕

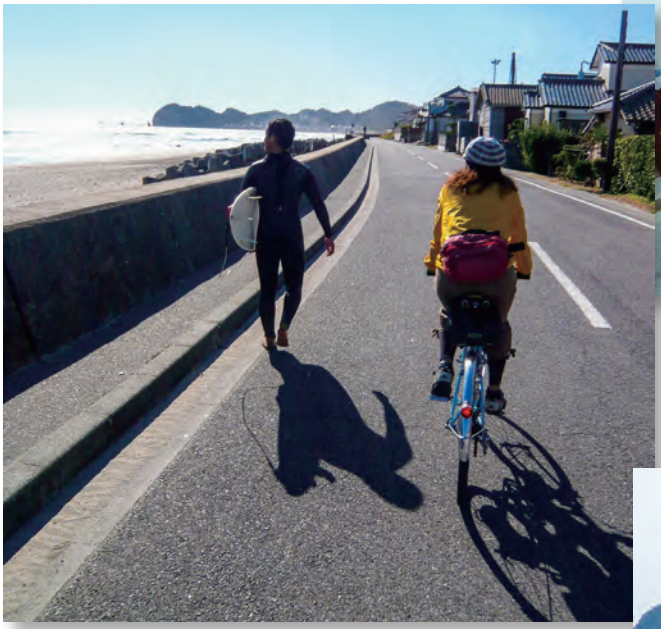
▲13-3　新しい市街が形成〔令和元 (2019) 年９月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

14

平豊間⑥

県道豊間四倉線／防潮堤（字塩場）

▲14-1　県道豊間四倉線の防潮堤沿いに南方を見る、豊間海岸の平豊間字塩場・大国魂神社の浜降り行事〔平成 13(2001) 年 5 月　いわき市撮影〕



▲14-2　サイクリングマップ作成のための試走とサーファー〔平成 19(2007) 年 11 月　いわき未来づくりセンター撮影〕

▲14-3　東日本大震災の津波によって大きな被害に遭った平豊間字塩場周辺〔平成 23(2011) 年 3 月 30 日　いわき市撮影〕

▲14-4　防潮堤かさ上げ工事〔平成 27(2015) 年 2 月　いわきジャーナル撮影〕

▶14-5　豊間海岸の防潮堤などの完成を記念して設置されたブロンズ像「海を見る」〔令和元 (2019) 年 9 月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

15 平豊間⑦

震災復興土地区画整理（字二見台←字兎渡路）

▶ 15-1　主要地方道小名浜四倉線から見る豊間震災復興土地区画整理事業の高台地区予定地〔平成 26(2014) 年 6 月　いわき市撮影〕

▲ 15-2　豊間震災復興土地区画整理事業の建設〔平成 26(2014) 年 10 月　いわき市撮影〕

▲ 15-3　完成した豊間震災復興土地区画整理事業区域（高台の二見台）〔令和元 (2019) 年 9 月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

16 平豊間⑧

二見ケ浦（字塩場）

▲ 16-1　二見ケ浦〔大正時代　郵便絵はがき　濱屋旅館発行〕

▲ 16-2　二見ケ浦の合磯海水浴場〔平成 11(1999) 年 7 月　いわき市撮影〕

▲ 16-3　東日本大震災で二見ケ浦の片方の岩が崩落して消失〔平成 23(2011) 年 4 月 7 日　いわき市撮影〕

▲ 16-4　合磯海岸で震災後初めての初日の出と希望の灯り〔平成 24(2012) 年 1 月　いわき市撮影〕

◀ 16-5　防潮堤かさ上げ工事が完成〔平成 30(2018) 年 5 月　いわき明星大学震災アーカイブ室撮影〕

被災から創生へ

vol.7

小名浜地区

1 江名

防災集団移転（字走出）

▶1-1　津波で被災した、江名字走出〔平成23(2011)年３月30日　佐川紘一氏撮影〕

▶1-2　永崎字町田へ防災集団移転となった江名字走出〔平成30(2018)年２月　いわきジャーナル撮影〕

2 中之作

中之作港

▲2-1　港湾南側の高台から見る中之作港〔昭和29(1954)年　江名公民館所蔵〕

▲2-2　港湾南側の高台から見る中之作港〔昭和30(1955)年代　比佐不二夫氏提供〕

▲2-5　進む中之作港の港湾復旧工事〔平成30(2018)年９月　いわき明星大学震災アーカイブ室撮影〕

▼2-4　大津波に襲われる中之作①〔平成23(2011)年３月11日午後４時５分　松本茂氏提供〕

▲2-3　大津波に襲われる中之作②〔平成23(2011)年３月11日午後４時３分　松本茂氏提供〕

主要地方道小名浜四倉線〔←江名鉄道〕／防災緑地（字大平）

3 永崎①

◀ 3-1　南側から江名に向かって見る江名鉄道の永崎駅　永崎海水浴場に向かう降客。〔昭和 30(1955) 年頃　斎藤清一氏撮影〕

▲ 3-2　廃止となった江名鉄道は、主要地方道小名浜四倉線バイパスへ転用〔昭和 60(1985) 年２月　おやけこういち氏撮影〕

▲ 3-3　東日本大震災の津波によって大きな被害に遭った永崎〔平成 23(2011) 年４月５日　いわき市撮影〕

▶ 3-4　完成となった防災緑地と主要地方道小名浜四倉線〔令和元 (2019) 年 12 月　医療創生大学震災アーカイブ室撮影〕

災害復興住宅／防災集団移転（字町田）

4 永崎②

◀ 4-1　市施工による災害公営住宅および防災集団移転促進（江名字走出から移転）事業に伴う住宅建設予定地〔平成 25(2013) 年１月　いわきジャーナル撮影〕

▲ 4-2　災害公営住宅および防災集団移転促進（江名字走出から移転）事業に伴う住宅建設の敷地造成〔平成 26(2014) 年４月　いわきジャーナル撮影〕

▼ 4-3　災害公営住宅および防災集団移転促進（江名字走出から移転）事業に伴う住宅の建設〔平成 26(2014) 年９月　いわき市撮影〕

◀ 4-4　災害公営住宅「市営永崎団地」および防災集団移転促進（江名字走出から移転）事業に伴う住宅の建設・写真手前は永崎団地集会所〔平成 27(2015) 年 10 月　いわき市撮影〕

5 永崎③ 大平川１号橋（字大平）

▶ 5-1　市道橋出・馬落線に架かる大平川１号橋付近〔平成 23(2011) 年３月 20 日　銀鈴スタジオ・小磯國雄氏撮影〕

▶ 5-2　大平川１号橋付近の河川護岸工事　写真奥に永崎小学校が見える。〔平成 24(2012) 年１月 11 日　いわき市撮影〕

◀ 5-3　大平川１号橋付近の河川護岸工事　河床の掘り下げなどの工事。〔平成 25(2013) 年９月　いわき市撮影〕

▶ 5-4　大平川１号橋の架け替え工事〔平成 26(2014) 年７月　いわき明星大学震災アーカイブ室撮影〕

▲ 5-5　大平川１号橋の架け替え工事が完成〔平成 26(2014) 年８月　いわき明星大学震災アーカイブ室撮影〕

▶ 5-6　大平川１号橋周辺工事（永崎小学校の通学路）が完成〔平成 30(2018) 年１月　いわき市撮影〕

6 小名浜下神白 神白川〔河川堤防、水門〕（字館ノ腰、字武城）

◀ 6-1　大津波に遭った神白川周辺といわき海星高校〔平成 23(2011) 年３月 20 日　銀鈴スタジオ・小磯國雄氏撮影〕

▶ 6-2　神白川堤防が完成、同河口には水門が完成〔平成 29(2017) 年８月　いわき明星大学震災アーカイブ室撮影〕